

司式：
奏楽：

《神の招き》

前 奏 『愛する神にのみ（讃美歌 454 番）』 G. ベーム
招 詞 ヨハネの手紙一4章8節
賛 美 歌 4 8 7

《神の言葉》

祈 禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖 書 申命記6章4～5節 (旧約276頁)
レビ記19章17～18節 (旧約179頁)
ヨハネの手紙一4章7～12節 (新約433頁)
交 読 詩 編 119編161～168節 (150頁)
賛 美 歌 4 4 8
説 教 「愛は見えるもの」 法亢聖親師(隠退教師)
祈 禱
賛 美 歌 1 9 6

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
奉 献 献金 祈祷: 献金当番
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌 栄 2 5
祝 福
報 告 オリーブコンサート&星野富弘詩画展のための祈り
後 奏

われわれは、神の恵みにより父と子と聖霊との名においてバプテスマをうけ主の体(からだ)なる教会に入れられた者であるから、すべての不義と迷信とをしりぞけ、互に主にある兄弟姉妹の交わりを厚うし、常に神の栄光のあらわれるように祈り、つぎのことを相共につとめる。

1. 教会の秩序を守り、その教えと訓練とに従い、聖日礼拝・祈禱会その他の集会を重んじ、聖餐にあずかり、伝道に励み、時と財(たから)と力とをささげて教会の維持発展につくすこと。
2. 日々聖書に親しみ、常に祈り、敬虔・純潔・節制・勤労の生活を全うすること。
3. 家庭の礼拝を重んじ、家族の和合を尊び、子女を信仰に導き、一家そろって神につかえること。
4. 互に人格を重んじ、隣人を愛し、社会の福祉のために労し、キリストの正義と愛とがあまねく世に行われるようにすること。
5. 神の御旨に従って、国家の道義を高め、国際正義の実現をはかり、世界平和の達成を期すること。

願わくは神、われわれを憐み、この志を遂げさせたまわんことを。
アーメン

(1954 年 10 月 28 日 第 8 回教団総会で議決。)

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像: